



生活習慣や学習習慣の確立に重要な「スコラ手帳」。スケジュール管理や日々の振り返り、長期的な目標などが書き込み、英語で一言日記を書く生徒もいます。

活用に尽きますよね。日々の予定や振り返りを書き続けることで、スケジュール管理と自己管理ができるようになります。

工藤先生：私は毎日10人分の『スコラ手帳』をチェックしてコメントを書き込み、生徒とのコミュニケーションツールとして役立てています。教員もひとり1冊持ち、予定の把握や授業進度、クラス運営とフル活用しています。

上里先生：日々の振り返りと長期的なスケジュール、両方書き込めるところがいいですね。学校ではわからない、自宅での様子や、休日に何をしたかを書く生徒もいて読みるのが楽しみです。

宮本先生：私は本校の卒業生ですが、『スコラ手帳』のおかげで自己管理ができるようになりました。テストや行事まであと何日かがわかりやすいので逆算して準備ができますし、先生との交換日記のようやり取りが楽しかった思い出もあります。ただの手帳ですが、手帳以上の使

活用に尽きますよね。日々の予定や振り

返りを書き続けることで、スケジュール管

理と自己管理ができるようになります。

工藤先生：私は毎日10人分の『スコラ手帳』をチェックしてコメントを書き込み、生徒とのコミュニケーションツールとして役立てています。教員もひとり1冊持ち、予定の把握や授業進度、クラス運営とフル活用しています。

上里先生

：日々の振り返りと長期的なスケジュール、両方書き込めるところがいいですね。学校ではわからない、自宅での様子や、休日に何をしたかを書く生徒もいて読みのが楽しみです。

宮本先生

：私は本校の卒業生ですが、『スコラ手帳』のおかげで自己管理ができるようになりました。テストや行事まであと何日かがわかりやすいので逆算して準備ができますし、先生との交換日記のようやり取りが楽しかった思い出もあります。ただの手帳ですが、手帳以上の使

## 英語力が磨かれる行事が豊富 合唱コンクールでは成長を実感

浅野先生：安田学園の行事は、「探究」「グローバル」「コミュニケーション」の3つの柱をもとに実施しています。中1の行事で印象的なものは何ですか？

工藤先生：英語科の教員としては、年間5回開催する英単語コンテストに力を入れています。毎回約300単語と覚える

数が多いのですが、クラス対抗コンテスト

：日々の振り返りと長期的なスケジュール、両方書き込めるところがいいですね。学校ではわからない、自宅での様子や、休日に何をしたかを書く生徒もいて読みのが楽しみです。

上里先生：日々の振り返りと長期的なスケジュール、両方書き込めるところがいいですね。学校ではわからない、自宅での様子や、休日に何をしたかを書く生徒もいて読みのが楽しみです。

宮本先生：私は本校の卒業生ですが、『スコラ手帳』のおかげで自己管理ができるようになりました。テストや行事まであと何日かがわかりやすいので逆算して準備ができますし、先生との交換日記のようやり取りが楽しかった思い出もあります。ただの手帳ですが、手帳以上の使



1年の締めくくりにクラス対抗で実施する合唱コンクールは団結力が高まり、成長を感じる行事。

浅野先生：英語に関しては、11月に「TOKYO GLOBAL GATEWAY」というお台場にある施設で半日疑似海外体験ができるのも重要な機会です。ホテルや空港、レストランや薬局といったさまざまな場所でのロールプレイをオールイングリッシュで行なうことができます。

上里先生：2月に実施する合唱コンクールは学年が上がるにつれてクオリティが上がつてき、クラスの団結や成長が見られるので教員も楽しみにしています。

宮本先生：英語科の教員としては、年間5回開催する英単語コンテストに力を入れています。毎回約300単語と覚える

数が多いのですが、クラス対抗コンテスト

：10年以上この学校で教員をしていますが、生徒に寄り添い、面倒見のいい教員が多いと思います。一人ひとりの生徒をしっかり見て、良いところを伸ばしていきたいです。

浅野 美帆先生(中1学年主任／国語科)

：素直で頑張り屋の生徒が多く、教員もその努力に応えようという気持ちになります。生徒同士、生徒と教員が互いに期待し合い、相乗効果で高め合える関係性が築けます。

上里 彩先生(中1担任／社会科)

：私は本校のOBです。安田学園はサポートが手厚く、学校完結型なのが魅力。6年間を通して多くの体験ができますし、自分の輝ける場所が必ず一つは見つかる学校です。

宮本 寛希先生(中1副担任／理科)

：新入生には、学校、学年、クラスのルールを徹底します。挨拶をする、時間を守る、人がいやがることはしない、といった基本ルールがあるなかで楽しく過ごしましょうと伝えています。

工藤 大奈先生(中1担任／英語科)

安田学園  
[東京都墨田区・共学校]

この学校の  
情報は  
「School-dot」へ



座談会参加の中1担当教員。左から宮本寛希先生、学年主任の浅野美帆先生、上里彩先生、工藤大奈先生。

# 生徒の頑張りに呼応して 学校全体が手厚くサポート

自ら考え学ぶ力を伸ばすことをモットーとする安田学園。1学年約250名の活動ある中1の導入期にどのような工夫をしているのか、中1を担当する4名の先生に話を聞きました。

## 安心・安全で楽しい学校と感じてもらえる授業の工夫

浅野先生：中1の導入期において、授業の進め方で気をつけることは何でしょうか？私が担当する国語では詩を群読し、読み解く作業を最初に行うことが多いです。どうやつたら気持ちが伝わるのか、話し合つて発表することで活発な意見が飛び交う授業になります。

工藤先生：いかに英語を楽しみ、好きになつてもらえるかを重視しています。具体的には英単語の「ピングー」といったゲームや、テキストの登場人物になりきって英文を読む、なりきり音読みを授業に取り入れています。

上里先生：安心して発言できる環境を整えてもらえるかを重視しています。個別であれば話せるという生徒もいるので、放課後残っている生徒には声をかけるなど、普段から気を配っています。

宮本先生：日常生活のなかで気になる「理

い方ができると思います。

淺野先生：生徒が抱えるトラブルを『スコラ手帳』で知ることができます。気に入るコメントがあれば個別に話を聞き、休み時間も様子を見るようにして、問題を小さいうちに解決することが大事だと考えています。ほかの先生はトラブルがあつた際の対応はどうしていますか？

上里先生：当事者だけではなく、周囲の生徒にも聞いて、まずは状況をしつかりと把握するようにしています。個別であれば話せるという生徒もいるので、放課後残っている生徒には声をかけるなど、普段から気を配っています。

工藤先生：保護者が不安にならないよう、途中経過も含めて細かく連絡するように心がけています。場合によっては担任だけで解決しようとせず、学年主任や生徒指導部など多くの教員が関わって、学校全体で多面的に問題への対応に当たっています。

上里先生：安心して発言できる環境を整えてもらえるかを重視しています。個別であれば話せるという生徒もいるので、放課後残っている生徒には声をかけるなど、普段から気を配っています。

宮本先生：日常生活のなかで気になる「理

いので、なるべく生徒の発言を肯定するようにしています。どんな意見も「それは違うよ」と否定せず、「そういう考え方もあるね」といったん受け止めるように心がけています。

上里先生：安心して発言できる環境を整えてもらえるかを重視しています。個別であれば話せるという生徒もいるので、放課後残っている生徒には声をかけるなど、普段から気を配っています。

宮本先生：日常生活のなかで気になる「理

いので、なるべく生徒